

平成 30 年度 第 3 回帯広市在宅医療・介護ネットワーク会議 報告書

日時 平成 31 年 2 月 28 日 (木) 19 : 00 ~ 20 : 45

場所 保健福祉センター 多目的ホール

1 帯広市挨拶

帯広市保健福祉部地域包括ケア担当部長 橋向 弘泰

2 議事

進行 帯広市高齢者福祉課課長補佐 永田 敏

(1) ワーキング活動報告

研修ワーキング 報告者 北海道医療ソーシャルワーカー協会東支部 外山 史教氏
周知啓発ワーキング 報告者 地域包括支援センター帯広至心寮 有富 彩乃氏

(2) 地域包括支援センターが実施した地域ケア会議における課題及び対策案について

報告者 帯広市高齢者福祉課課長補佐 家内 郁子 配布資料 資料 1

グループワーク

テーマ① 「在宅看取り」 記録 別紙 1

テーマ② 「退院時支援」 記録 別紙 2

(3) 平成 31 年度在宅医療・介護連携 相談支援体制について

報告者 帯広市高齢者福祉課課長補佐 永田 敏 配布資料 資料 2

(● 質疑 ○ 応答)

- (帯広市医師会 蘆野氏) 協力病院に厚生病院が入っていないのは何故か。管内で退院する患者が一番多い病院と思われる。
- (高齢者福祉課 永田) 高齢者の療養に関する相談窓口を想定している。厚生病院は、機能として急性期や救急を主に扱っている病院となる。入退院時連携ルールには厚生病院も入っている。

- （地域包括支援センター帯広市社会福祉協議会 梶氏）現在も高齢者福祉課に関係者のための相談窓口として在宅医療介護連携相談窓口があると思うが、30年度までと体制が変わるといふことか。
- （高齢者福祉課 永田）相談窓口としての機能は変わらないが、個別のケースに関しては今回新たに地域包括支援センターと連携協力病院が窓口となる。
- （介護支援専門員連絡協議会 渡辺氏）資料のケアマネジャーの表記が「ケアマネ」「居宅介護支援事業所」「ケアマネジャー」など統一されていないので統一を。
- （高齢者福祉課 永田）修正する。
- （地域包括支援センター帯広けいせい苑 峯田氏）相談シートについて、この様式がこれから配布されることになるのか。地域包括支援センター4か所が載っているが、ぜひサテライトも加えていただきたい。
- （高齢者福祉課 永田）まだイメージの段階でありこれから調整してお示しすることになる。それも含め、来月、ケアマネジャーと訪問看護師を対象とする説明会を予定している。
- （帯広保健所 土田氏）確認になるが、医療と介護の連携にかかる相談は今までもおりで、ケース支援で困ったことはこちらの窓口ということによいか。
- （高齢者福祉課 永田）そういう時の関係者の相談窓口が地域包括支援センターと連携協力病院ということになる。

3 連絡

（帯広市医師会 蘆野氏）

- 国の動向について、在宅医療の推進にあたっては医療計画との整合性を持ち結果をだすことが求められている。（別紙資料提供）
- ホスピス全国大会について、2月に実施することができた。皆様の協力に感謝します。